

新潟県立村上高等学校同窓会関東支部



2024年(令和6年) 4月20日発行 第35号

発行人 高橋初雄
編集人 佐藤達生
題字 宮絢子

ホームページ
<https://murakou.com/kantou/>

同窓の集いへのお誘い

コロナ禍のため令和2年から4年まで休止となり、昨年は総会のみが開催された村上高校同窓会関東支部「同窓の集い」。昨年度の総会では役員も改選。5年ぶりに催される懇親会を含めた新たな「同窓の集い」にご期待ください。



同窓の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じ上げます。日頃は村上高等学校同窓会関東支部活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る3月1日に母校村上高等学校の第76回卒業式が挙行されました。私は同窓会関東支部の代表として式に参列いたしました。今回の卒業生は125名、それぞれの道に向かって希望と期待とを胸に秘めながら、母校から巣立って行きました。半世紀以上前になりますが、卒業生と

して卒業式に臨んだことを走馬灯のように思い出し感慨深いものがありました。また夢多き後輩が社会での荒波に負けず健やかに育っていくことを、心から願わずにはいられません。遠く離れた故郷から毎年、進学・就職のため、関東地区に出てくる新同窓生を温かく迎え入れるのも関東在住の先輩として私たちの大切な役割と責務と思っております。

さて、同窓会関東支部は、同窓の仲間が集まり親しく交流できる「同窓の集い」(支部総会・懇親会)を本年は6月15日㊥



2018年の「同窓の集い」より

に開催いたします。コロナ禍の影響もあり、昨年は異例の、総会のみで開催となりましたが、今回総会では、特に会則改正のご審議をお願いすると共に、懇親会を5年ぶりに盛大に行うこととしています。役員・幹事一同、会を盛り上げるべく万全の準備を進めています。会場は千代田区六番町(四ツ谷駅前)の「主婦会館プラザエフ」となります。会員各位のご来場を心よりお待ちしております。

村上高校同窓会関東支部
会長 高橋初雄(24回)

故郷の話をしよう

関東支部副会長兼事務局長

木村春夫(23回)

今般、お手元に届いた本紙を、覧になつて、同窓の皆様は新鮮な驚きを感じたのではないのでしょうか？



関東支部には郷土愛にあふれた逸材が仲間に加わり、精魂込めてこの「村高」を発行しました。関東支部に新たな歴史の1ページを開かんとしています。

高校時代にはいい思い出がないからと同窓会に消極的な方もいらっしゃるかもしれません。かくいう私も十数年前まではほとんど興味がありませんでした。その後、当番幹事をやった時に40年ぶりに同期生と再会し、懇談する中で、自分を再発見する貴重な機会を得ることができました。その後、同窓会に少しでもお役に立てればと思いつつ今日に至っております。

自分にとって同窓会の魅力は、第一に同窓の方々の人材のすばらしさです。お会いした方々は例外なく魅力にあふれ、警咳に接する喜びは何物にも代えがたいものです。魅力の第二は、ふるさとを知らなければほど大好きになっていくことです。同窓の方と話していると初めて聞く歴史や出来事などを知り、人々の努力に感動し、ふる里に愛着がわいてきます。

皆さんも、ぜひ一度、関東支部の総会・懇親会に参加してください。事務局、お知り合いの幹事の方どうぞ気楽にご連絡ください。

日時 令和6年6月15日㊥ 12:00(11:30開場)

場所 主婦会館プラザエフ スズラン(9F)

東京都千代田区六番町15番地

TEL.03-3265-8111

JR 中央線・総武線・地下鉄丸ノ内線・南北線

四ツ谷駅徒歩2分

会費 10,000円(男女とも)

新卒者 無料

※5月末日までに欠出のご返事をお願いいたします。

カナダ・トロントで村上観光物産紹介

リリーフェルトまり子(19回)

結婚を機にカナダ・トロントに移住し、今年1月で50年になる。先日家族とナイアガラの滝で金婚祝いをした。私は父の会社



の転勤で村上に住み、村上高校卒業後は、大学進学のため村上を離れ、卒業後は教職について。移住先のトロントでは、日本語学校で教えたり、同じく国際結婚の仲間たちとグループを作ったりで、友達の輪を広げていった。

カナダでのキャリアアリアを築くため、大学院で図書館情報学を学び、図書館司書として長年勤務していたが、2017年に退職してからはリタイア生活を楽しんでいる。

転勤族だった両親は、父の退職後40年余りを村上で暮らした。私はカナダから何度となく子供たちを連れて、両親の住む村上を訪ねた。父は釣り、ゲートボールやカラオケを楽しみ、母は短歌に励み、二人の娘は遠くに住んでいて寂しかっただろうが、人情溢れる村上の人々に支えられ、静かに命を全うした。両親の愛した村上は、日本を離れた私にとってかけがえのない故郷である。

2018年に村上高校の同期会に参加し、同窓生と高校卒業後初めて繋がった。長いカナダ

生活で当地の社会に溶け込んでいけるが、心はいつも日本であり、日本語を話し日本食を食べ、日本人の友人たちとの友情



トロント新潟県人会ブース。右から2番目が筆者

を大切にしている。

トロントには、1963年創立の日系文化会館があり、日本の文化、歴史、日系カナダ人のレガシーを発信しており、日系人のみならず、広くカナダ人にも親しまれている。

会館では毎年、「お正月会」があり、餅つき、お属蘇の振る舞い、獅子舞、着物ショーや書き初めなどが行われる。今年初めて「お正月会」の一環としてトロント都道府県人連合会の企画で、インバウンド観光の集客や、物産の紹介を目的とした県人会ブースが設置された。私は村高19期の安富成良さんのご協力で村上市役所と越後村上物産会より配布用のPR資料を入手できた。新潟県人会のブースでは、村上市や観光協会の日英両語のパンフレットや物産会制作の物産品のしおりなどを展示し、村上のPRに務めた。また、所蔵の堆土工芸品も展示した。村上市の存在すら知らなかった2000人近くの来場者に日本の歴史的な風情が残る街並みや村上の特産物、伝統工芸品、そして瀬波の温泉や海岸などの紹介ができたことを心から嬉しく思う。コロナが収まり旅行ブームである。海外からの観光客で村上が活気づくことを願っている。(トロント在住)

大切にしてきた人とのつながり

山村重雄(27回)



原稿を書くにあたって、これまでに素晴らしい経歴をお持ちの諸先輩方が本欄を飾っており、私に何がお伝えするべきところがあるのか悩みましたが、せつかくの機会をいただきましたので私の村高時代やその後を振り返ってみたいと思います。

私は村上市内の上片町の生まれで、当時、三之町に並んでいた村上小学校、村上中学校(途中で

村上第一中学校になり大欠に移動しました、村上高校(これも途中で駅前に移動しました)と進んで多感な時代を過ごしました。高校時代の思い出としては、学園祭で2年、3年のときにやった人形劇でしょうか。2年生の時は「大里峠」(今は大したもん蛇祭り、で知られています)をやりました。このクラスは隠れ芸達者な人が多く、脚本から演出までみんなで協力して出し物を作成しました。私は音と照明を担当して、録音と実際のセリフを混ぜた人形劇でした。学園祭が終わったときには達成感で満たされたのをよく覚えています。

高校を卒業した後、千葉にある大学の薬学部に進学し、ここでもユニークな友人たちと楽しい4年間を過ごしました。卒業後、一度製薬会社に入り、その後、大学に戻って教育・研究を業とすることとなりました。最初の研究室では物理薬剤学という分野の研究を行いました。当時は、研究上必要なプログラムは自分で作成するのが普通でしたのでプログラミングもある程度はできる必要がありました。あるとき、少し大きな計算が必要とする研究にぶち当たり、当時としては大容量のメモリーが必要になったのですが、1MB(たった1メガバイト!!)のメモリーが100万円した、そんな時代でした。その後、研究がまとまって博士(薬学)の学位を取得した後、カナダのアルバータ大学に留学するチャンスに恵まれました。この留学が、私にとって人生の転機期でした。アルバータ大学では、日本の基礎薬学中心の教育ではなく、医療の中で活躍できる薬剤師教育が行われており、日本の薬学教育も変わらなければ(変えなければ)と考えるようになり、研究よりも教育の方に力を注ぐようになりました。それに伴って研究の中心も物理薬理学から情報学、医療統計学と変化させ、職場である大学も変わりました。その後、私の研究は全く深まることはありませんでしたが、様々な分野を経験してきたことが幸いして、多くの国内外の研究

者との共同研究が実現しました。また、グローバルな薬学教育の発展に貢献したとの理由で2020年には国際薬剤師・薬学連合という世界的な組織からフェローの称号までいただきました。大学教員生活も40年を超えて2022年にいったん退職しましたが、現在は、特任教授として引き続き大学に勤務しています。振り返ると、それなりに充実した人生を送ることができたのは、いつも信頼する恩師、先輩、後輩、友人、恵まれた上につきるなと思っています。若い人たちには、人とのつながりを大事に、豊かな人生を送ってほしいと思います。(船橋市在住)

Unfinished business)が原動力

吉村良子(40回)



この原稿の依頼を受けて、改めて村高を卒業してからの事を考えてみた。転職、離婚、リストラを経験し、子供もなく、現在一人暮らし。

羨ましがっている人はいないと思うが、自分としては結構、「好き」だ。今も充実している。

しかし、自分の中に、Unfinished business(未完の事柄)と感ずるものがある。母親の事だ。

私は3人兄弟の末っ子で、上の二人とは年も離れている。だからなのか、母親には可愛がられた記憶しかない。私のすること全てを肯定し、応援してくれた。それが当たり前だった。村高の3年生だった時にアメリカに1年間留学した際も、相談する事無く決めた私を全力でサポートしてくれた。三日坊主の私が、唯一日記をつけ続けた1年間だった。その日記の最後は、「ありがとう

言い足ることない言葉持ち、歩き始める。母に会う日」という自作の短歌で終わっている。自分がいかに母親に大事にされ、愛されてきたのかという事に、気づかされた1年間だった。

海産物製造加工卸・観光土産品・各種ギフト用品
村上こがね
 代表取締役 勝見賢策 (24回生)



三面川の鮭を使用した
甘口のしぐれ煮

〒958-0871
新潟県村上市久保多町8番地3号
TEL (0254) 5 3-5 5 1 5
FAX (0254) 5 3-5 5 0 2
e-mail m-kogane@aj.wakwak.com



村上茶栽培
製造販売
創業明治元年

富士美園
 伊豆 活動の喫茶 茶寮 翠 カネエ
 村上市長井町4-19 TEL 0254(52)2716

お茶以外にも村上の事なら
お任せください
取締役会長 飯島久 (18回生)



東北の道の駅「朝日」
 朝日
みどりの里
みどりの里
朝日
みどりの里

今年も信州高山から美味しい葡萄・りんごを産直価格でお届けします

ぶどう:「シャインマスカット」3kg 1箱
(税込)5,300 円(別途送料)900 円

りんご:「サンふじ」
5kg 箱(税込送料込)4,400 円
10kg 1箱(税込送料込)6,600 円

その他の品種・価格はスマホで【信州高山宮川農園】で検索してください。

ご注文はFAX でお願ひします
 長野県上高井郡高山村中山 1949-5
宮川農園 宮川正康 (15回生)
 Fax・Tel 026-246-9666
 携帯 090-1554-2707

けれど私は、結局母親にありがどう、を伝える事なく、彼女を失ってしまった。

交通事故がきっかけだった。その頃私はアメリカの大学にいた。実家から電話があり、翌日には日本へと向かった。日本に着いて駅からタクシーで病院に駆けつけると、母親がいろんな機械につながれてそこにいた。

植物状態のままかも知れないとも言われたが、ひと月ぐらいいして目を覚ました。だが一人でできる事は限られており、会話もままならず、目覚めた母親はまさに、生まれたばかりの赤ん坊だった。その母親を支えたのは、東京から戻り、付きっきりでそばにいた兄だった。近くに嫁いだ姉も、頻りに顔を出し、時間を共有した。

一方で、「母親もきつとそれを望むはずだ」と言われ、私はアメリカに戻り、大学生活を続けた。過ごした時間の差だろうか。母親は事故後8年間生きてくれたが、その間、私を名前と呼ぶことはなかった。

あんなに伝えなかったありがどうを伝える事も出来ないまま、私は彼女を失ってしまった。もう二度と「埋め合わせる」事もできない。だから、「unfinished business」なのだ。しかし、これこそが、今、私を前に進ませ

る力となっている。

私は今、企業のサステナビリティパフォーマンスを評価する会社で働いている。我々が目指しているのは、持続可能な社会の実現。次の世代のために自分に出来る事が何かを考え、彼らが生きる社会を持続可能なものにしていく事。その事が、私を信じ、そして愛してくれた母親に対して、ありがどうを伝える事につながっていると、私は考えている。

決して言い足りない事のない「ありがどう」という言葉を伝える事、それこそが今、私を前へと進めているのだ。

(渋谷区在住)

村上を起点に実現したこと
 西村恵子 (27回)

10年以上前のことですが、宝田明さんの講演を聞く機会がありました。旧満州での幼少期と、戦後、日本に引き揚げて来るまでの体験談が中心だったと記憶しています。体内に入った銃弾を手荒な手術で取りだした傷跡が今も残っていることなど、かなり衝撃的な話もありまし



た。もちろん私も「中国大陸から引き揚げて来た人」がいることは知っていました。が、どんなに過酷な状況であったのかを、初めて実感することができたように思います。

その後、同様に中国大陸からの引き揚げを経験した方の著作などを読み、引き揚げて来た人や大陸に残された人が経験した、むごい現実を更に知りました。そんな中、数年前、村高の同窓会報紙にユニコ舎が出版した宝田明さんの「送別歌」の広告が載っているのを目にし、これも読まなくてはと購入したのですが、ご自身の戦争体験と戦後の大変な状況や、反戦・平和を訴えるようになった経緯なども記されていると同時に、昔の村上の写真などもあり、大変興味深く読ませてもらいました。

そして昨年、首都圏在住者の同期会に初めて参加しました。懐かしいお名前やお顔があるのと同時に、「初めまして」状態の方も多く、卒業後50年近くたっているのだと再確認したのですが、LINEやメールでのつながりもでき村高や同期の方のいろいろな情報をいただくことができるようになりました。

その情報網で、関東支部事務局員の白井潔人さんから、昨年11月の新潟県人会館での「戦争と平和 宝田明の証言」上映会のお知らせをいただきました。観たいと思ったのですが、村上で法事があり行くことができません。残念な思いをしました。ならば、自分たちが上映会を開催できないかと思い立ち、臼井さんを通じて、上映会を企画されたユニコ舎の工藤尚廣さんをご紹介いただきました。結果、工藤さんには映画会社への取り次ぎなど大変なご協力をいただき、自主上映が実現することとなったのです。

5月17日(金)、世田谷区の三茶しやれなあどホール(東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋下車徒歩3分)で、午後6時20分からの「生かそう憲法! 今こそ9条を! 世田谷の会」という市民団体の総会での上映です。どなたでも無料で参加できますので、県人会館で見逃した方もぜひお出かけください。上映開始は7時頃の予定です。


▼問い合わせ先: beb04037@nifty.com

村上を起点としたつながりを強く感じた出来事でした。今後もしのつながりを大切にしたいと思っています。

(調布市在住)

長い歴史を持つ母校の卒業生にはいろいろな分野で活躍している方々がいらっしゃいます。今回は音楽家のお二人にお話を伺いました。それぞれジャンルは異なりますが、音楽を通じた村上とのご縁を大切にしながら活動を続けています。いまとこれまで、そして同窓生へのメッセージを語ってくれました。

(聞き手：本紙編集長・佐藤達生)



大滝さんが指導するコーラスグループ「クリスタルボイセズ」5年ぶりの単独コンサート開催のお知らせ

- ・日時 2024年6月30日(日) 13:30 開演～15:00 終演
- ・会場 村上市ふれあいセンター
村上市岩船 3270 番地 Tel. 0254-52-0201
- ・料金 無料

※大滝さん率いる「ANNYABAND」が伴奏やゲスト演奏をします。

—大滝さんは村上でも音楽活動を行っているそうですが？

大滝 田端町のマナボウテ村上(生涯学習推進センター)で月2回、合唱団の指導をしています。20年ほど前に結成された「クリスタルボイセズ」です。団員は30人から35人くらい、結成時からのメンバーが半数ほどです。

—東京に住んでいる大滝さんが村上の合唱団の指導をするのはどうしてですか？

大滝 もともと合唱の指導をしていた豊田先生の奥様に手伝ってほしいと言われたんです。教室に行ってみたら「この方が新しい先生です」と紹介されて、そのまま指導することになったちゃいました。

和泉 その元講師は、私の母の従姉妹です。私の母も一中(村上第一中学校)の音楽教師でした。

—榎木紀子先生ですね、優しい先生でした。私たちの世代は教わりましたが、途中で産休に入られましたね。あれはもしかして？

和泉 それは私じゃないです(笑)。弟がお腹に入っていたときです。

大滝 私も一中時代に榎木先生から音楽を教わりました。榎木先生はクリスタルボイセズの団員だった時期

があり、私が指導する立場になったのは戸惑いましたが…。

—大滝さんは指導のために隔週で村上に行くのは大変じゃないですか？

大滝 自分の仕事のひとつです。でもせっかく村上に行くのでほかのこともやっていますよ。村上には60歳以上の方が参加できる「長寿大学」があります。そこでギターアンサンブルの講師を務めています。ほかに音楽の個人指導があります。これは生徒さんのご希望に合わせたオーダーメイドのレッスンです。

—合唱団はステージで歌うこともあるんですか？

大滝 七湊から瀬波温泉に抜けるトネルの近くに「市民ふれあいセンター」という村上でいちばん大きな

音読を身に着ければ表現力が向上します

(和泉)

童謡や唱歌は音楽として耳に馴染んでいます

ホールがありますが、そこで毎年「市民合唱のつどい」が行われます。10団体くらい出場しますが、わがクリスタルボイセズもここで歌います。コロナで中断しましたが、数年に一度オリジナルコンサートを開催します。和泉さんにも出場してもらったことがありますよ。

—和泉さんほどのように共演を？

和泉 大滝さんのギターで何曲か歌わせていただきました。



和泉聡子 ●2月11日生まれ。幼い頃からリコーダー、アコーディオン、クラシックギター、吹奏楽部(パーカッション)など楽器のアンサンブルに親しむ。中大在籍。大会や研修で活躍。1997年研やオンサンの公演に参加、コンサート出演数。近年は童謡唱歌、朗読付きの音楽作品や日本歌曲の歌に深く関わっている。

—村上では、ほかにどのような音楽活動をされているのですか？

和泉 「竹灯籠祭り」に毎年ボランティアで参加しています。

—すみません。初めて聞きました。が、どんなお祭りですか？

和泉 昨年で23回目を数えるたおやかなお祭りです。黒塀作りで知られる安善小路に5000本の竹の灯籠を並べて、ろうそくの灯りのなかで琴、三味線、尺八、和太鼓といった古典の音色を楽しめます。

私はオペラの声楽家ですが、ボイストレーナーもやるし、音読指導士の資格も持っています。「竹灯籠祭り」では歌うことだけではなく朗読も試みていきたいと思っています。

—ふたたびすみません。音読指導

士とは？

和泉 私は提唱者の斉藤ゆき子先生の指導を受けて資格をとりました。「朗読」をマスターすると心身的には滑舌がよくなるとか、頭が動く、心を柔らかくするといった効果があります。

が、詞の真意を見過ごしがちになってしまいます。きちんと音読できるように訓練すると人とのコミュニケーション力も養われます。

—話が前後しますが、和泉さんがオペラ歌手になるきっかけは？

和泉 一中の吹奏楽部でティンパニーを演奏していました。村高を卒業して音楽の道を目指そうと、お茶の水女子大学の文教育学部の舞踊教育学科で音楽教育学を専攻しました。

訪問記 同窓生のいまを聞く

大滝秀則（32回生）×和泉聰子（40回生）



舞踊という文字を見た人は、私がダンサーになると思ったようです（笑）。

大学3年生の学園祭でオペラに出会い、お茶大の大学院演奏学修了後、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部を修了して、藤原歌劇団に所属しています。

——オペラ歌手と村上の竹灯籠祭りのマツチングが面白いですね。

和泉 大学
院終了後の
4年間をロ
ンドンで過
こしたん
ですが、そ
の経験によ
って日本の
歌曲を究め
たいと思っ
たようにな
りました。いま
はオペラだ
けでなく日
本の歌も唄
っています。

——大滝さんはどうやって今のよ
うな音楽の仕事をするようになった
のでしょうか？

大滝 日大芸術学部音楽学科で作曲を学びました。デビューを目指してバンド活動を行いました。いわゆる方向性の違いで解散しました。私は譜面を読んだその場で歌うことができるので、その後、いろいろな現場からお声がけいただくようになり、20代後半にはスタジオミュージシャン専業になりました。

——スタジオミュージシャンの仕事

事について教えてください。

大滝 呼ばれた現場で渡された譜面を見て歌います。スタジオでCMソングを歌う場合と、コンサートなどでバックコーラスを担当することが多いですね。

——私も知っているCMソングもありますか？

大滝 ローカルでは「大観荘せなみの湯」があります。

——知りません！

大滝 地元では有名ですが…。全国ネットだと「タウンページ」「オートバックス」「サッポロ一番みそラーメン」など。

——こんど同窓会の総会で歌ってください！

大滝 いいですよ（笑）

——大滝さんはお正月の「ゴッドタ
ン 芸人マジ歌選手権」（テレビ東
京）にも出演されています。

大滝 赤面ものの番組ですが…。ロバートの秋山竜次君がゴダイゴみたいなスタイルでバンドをやりたいとスタッフに相談したところ、私のところに依頼が舞い込みました。とりあえず1回やってみようということだったので、秋山君が気に入って

てくれて、気がつけば今年で7年目

になっていました。

——大滝さんには村高出身の弟さんがいらつしやるのか？

大滝 35回生になります。去年まで柏崎の高校で英語を教えていました。事情があつて辞めてから塾の講師をしていたのですが、「中学生相手はつまらない」なんて愚痴を言っていたところ、ちょうど村高の教員募集があつて今は村高で働いています。

——音楽を取り巻く環境についてはどのように感じていますか？

大滝 私も還暦を過ぎました。若い頃、ロックは年寄りの音楽ではなかったですが、今は還暦を過ぎた人たちがバリバリでロックを奏でる時代です。これまで長年培ってきたスキルを村上の、特に中高生あたりの若い人たちに伝えられたら嬉しい

ですね。

——最後に和泉さんから「村高」読者の皆さんにメッセージをお願いします。

和泉 同窓生の村上との距離感個人差があると思うので一概には言えないのですが、私が仕事や村上との関わりがなから得たり覚えたりしたことを、自分より若い人たちにお伝えしたいと思います。

クラシック音楽はお年寄りのものではないですね。この記事を読んだ方が何かを感じて、私の音楽を聴いてほしいし、それがきっかけになって同窓生同士の交流が生まれたらうれいと思います。同じバックポーンを持つもの同士は、そうでない人より安心できます。まずは総会でふるさとのことや母校のことを語り合

音楽のスキルを若い人たちに伝えたい （大滝）

クラシック音楽はお年寄りのもの



大滝秀則●1961年5月21日生まれ。日本大学芸術学部音楽学科作曲コース在学中よりプロとしての音楽活動を開始。ヴォーカルとコーラスのスタジオミュージシャンとして、他のアーティスト作品への参加や、多数のCMソング、アニメソング、ディズニー作品の日本語吹き替え等で歌唱する。和田アキ子、村下孝蔵、石川さゆり、五木ひろし、吉幾三等のサポートメンバーとしてステージに参加。ライブ活動では自己のバンド「ANNYA BAND」を率いてオリジナル曲でのCD制作やライブのほか、アコースティック編成やギター、ピアノ弾き語りライブも行う。

「戦争と平和 宝田明の証言」上映会 よみがえった文化祭の高揚感

工藤尚廣(31回)

郷里・村上と縁があった有名人といえは宝田明さん。そのイメージできる人はどれくらいいるでしょうか。還暦を過ぎていた私の世代も「村上(宝田明)のイメージは希薄です。先輩の田所和生さん(17回生)は「宝田さんが村上に凱旋帰郷したときのことを覚えてます。ヘリコプターで市営グラウンドに着陸して、『宝田明、故郷に帰ってきましたー』なんて、颯爽としていて素敵でした」とお話ししてくれましたが、それも「今は昔」といえるでしょう。市営グラウンドはいつの間になくなってしまいました。宝田さんも2022年にお亡くなりになられてしまいました。

出版業を生業としてきた私は2019年に出版社「ユニコ舎」を起業して翌年、宝田さんの著書『送別歌』を刊行しました。そもそも宝田さんには輝かしい銀幕スターとしての足跡を綴ってもらったつもりでしたが、私の目論見とは逸れて、満洲での幼少期にソ連兵に銃撃されたこと、過酷な引揚体験、「ゴジラ」という反核のシンボルのエピソードなど、宝

田さんが信条とした「不戦不爭」の本として世に送り出すことになったのです。

『送別歌』の刊行後すぐに、宝田さんは「一緒に村上へ行ってイベントをやるよ」とおっしゃっていましたが、コロナ禍のため実現することはありませんでした。宝田さんの講演会や上映会もコロナのため中止や延期が相次ぐ中で、宝田さんがドキュメンタリー映画の撮影に臨んでいたとはまったく知りませんでした。2021年12月から撮影が開始、その3カ月後に他界されたのです。

2023年3月に上映された「戦争と平和 宝田明の証言」を観て、私は涙が零れそうになりました。生前の元氣な姿を久しぶりに拝見したこともありましたが、映像の中の宝田さんの傍らには『送別歌』があったためです。このとき、「一緒に村上へ行ってイベントをやるよ」という宝田さんの言葉がふたたびよぎりました。この映画には村上でのエピソードも盛り込まれている、この映画を村上の人たちに観てもらいたい。その第一歩として思いついたのが村上高校同窓会関東支部主催の上映会でした。まずは山本宏平前会長、高橋初雄新会長、そして東京村上市郷友会の佐藤勝会長に相談しました。そ

して上映会実行委員会を結成。臼井深人さん、大塚寿子さん、小林敦さん、佐藤達生さん、大澤泰則さんが実行委員として奔走してくれました。上映会はユニコ舎の主催、村上高校同窓会関東支部と東京村上市郷友会の後援で開催することになりました。

ついにその日がやってきました。11月19日、東京新潟県人会館ホール。私は同窓会と郷友会が培ってきた同郷の絆をあらためて実感しました。来場者は95名、そのほとんどが村上出身者でした。

当日、上映会のMCを務めた私は「ここは村上ではなくて台東区上野ですが、本日は村上にゆかりのある方々に多数「来場いただき、宝田さんも喜んでくださっていると思います」と挨拶をしましたが、それは偽りなき気持ちを吐露したものでした。

上映会には宝田さんの従弟である芳野隆夫さんや、宝田さんのマネージャーである小暮恵子さんが駆けつけてくれました。

上映会開催は村上高校同窓会関東支部では初めての大きな試みでした。村上新聞社さんが記事として取り上げてくださり、郷里とのつながりを余韻として残しました。

反省点がなかったわけではありませんでしたが、なんだか、高校時代に文化祭実行委員を任されたときの高揚感が40年以上を経てよみがえりました。今年もまた「大人の文化祭」にトライしてみたいです。

星和会 気軽にご入会ください!!

佐藤勝(14回)

村上高校関東支部の先輩たち、即ち旧制中学及び合併の同窓生を主体とした方々が独自に立ち上げた有志の会で、会員数は約40名です。今は60歳以上の同窓生に門戸を広げています。

活動は30年以上続いています。現在のメインの活動は毎年11月に開催される「文化講演

会と午餐会(懇親会)です。

この文化講演会の講師は会員で、互いに現役時代の得意分野をテーマに講演を行いお互いの啓発を図ってきました。すでに15回継続されていますが内容は多岐にわたります。素晴らしいものです。講演後の午餐会では、気さくに大先輩達との懇親が図られ有意義な会となっています。

気楽に入会ください。お待ちしております。

▼事務局：佐野清克(15回生)

TEL 090-4738-0853



台東区上野の東京新潟県人会館ホールで開催。村高卒業生を中心に95名が来場



左から東京村上市郷友会の佐藤勝会長、著者、村高同窓会関東支部の高橋初雄会長

週に1度故郷を読んでみませんか!

村上新聞は、村上市、関川村、粟島浦村を取材エリアに、圏域の政治、経済、社会、教育、スポーツ、歴史、文芸、街かど情報など幅広いジャンルをきめ細かにお伝えする、地域密着型の週刊新聞です。

1カ月1,100円(税込)・土日発行(第5土曜除く)
地方発送いたします(全国送料無料) ☎0254-53-1409
★お電話お待ちしております。

村上新聞 (株)村上新聞社 〒958-0842 新潟県村上市大町2-11
☎0254-53-1409・FAX 53-6088 メール info@m-news.jp

同期会 いつまでも変わらぬ17回生

山本宏平 (17回)



村高17回卒業生の皆さん、お元気に経過してでしょうか。二、関東地区において昨年11月5日に喜寿(77歳)を祝う会を兼ねて同期会を開催致しました。新宿南口の高層ホテル21階の都心を一望に見渡せる室でコース料理を味わいながら約2時間あつという間のひと時でした。

参加者は前回古稀(70歳)を祝う会の時の26名から半減して13名。この年齢にもなる体の具合などの理由で、どうしても出席できない人が多く見られました。でも、コロナもやっと落ち着いてきたこともあって、皆がコロナの制約から久し振りに解放されたのか会話も弾み、近況を語り合い充実した貴重な時間を過ごすことが出来ました。

13人と少し寂しくなった会を盛り上げてくれたのは、ふるさと関川村からこの会のためにと出席してくれた大島文雄君や静岡県三島市から駆けつけてくれた当麻健君でした。まさに「朋有り遠方より来る、亦た楽しからずや」の気持ち

を皆で共有しました。昼時の一見豪華なコース料理のあと、名残惜しいので皆とお茶と思、ホテルからすぐ近くの新宿駅南口に新しく出来た新宿バスタ



喜寿を祝った17回生

[前列左から] 宮本(滝波)久美子(5組)、宮(佐藤)絢子(7組)、田所(小田)和子(6組)、日高(佐藤)マチ子(4組)、高橋(本間)イシ子(1組)、楢取(伊与部)英子(6組)、佐藤笑子(6組)

[後列左から] 山本宏平(2組)、富樫芳次(5組)、稲垣常夫(7組)、当麻健(5組)、大島文雄(4組)、本間保(3組)

る店の前では席待ちの人がズラリ。そこでその界限をあちこち探したがどこもかしこもいっぱい。仕方なく高島屋前にある階段状になっている公衆スペースのテラスに腰を掛け自販機の飲み物で約2時間、60年前の気持ちと面影でお喋りを楽しむことが出来ました。ふと、周りを見渡すと我々と同じように若い人達が沢山たむろしていたのですが、それらに負けないほどの若さに溢れた我々のグループであることを一瞬感じながら、またの機会に皆と会う約束をしてそれぞれの家路に着きました。最後にこの場をお借りして、いつも同期会開催の企画準備して下さった田所和子さんに感謝申し上げます。

自慢の教え子 鶴橋康夫さん

宮絢子(17回)

日本の映像界に輝かしい功績を残し、2023年10月9日に死去された鶴橋康夫さん(10回生)。「鶴橋康夫監督を偲ぶ会」に出席された宮絢子さんからの追悼メッセージ!

2024年2月5日、東京には珍しく雪の舞い続ける夕刻。東京プリンスホテルで「鶴橋康夫監督を偲ぶ会」が開催されています。早河洋テレビ朝日会長による開会の挨拶の後、会場正面のスクリーンに監督の第一作から最新作までのダイジェスト映画が流れる前で、佐藤浩市、寺島しのぶ、豊川悦司、妻夫木聡、柄本明、椎名桔平、阿部寛、大竹しのぶ、各氏の思い出話が続いています。

2006年(平成18年)4月、私の父(佐藤竹南)が突然亡くなった日、村上では桜の花びらが舞っていました。親戚以外で一番目にお知らせしたのが、鶴橋さんでした。府中のご自宅の電話コールが一回鳴った途端に、「鶴橋です」というお声。電話には滅多に出られないと聞いていた鶴橋さんのお声です。

鶴橋さんは、父が若かりし頃に勤務した保内小学校での教え子です。村上大祭には一人で泊まりに来たことがあったという、兎に角自慢の教え子でした。監督となり、テレビドラマや映画が完成するたびに「できました、観てください」と届いた案内状を、父は自慢気に私に見せたものでした。又、鶴橋さんから毎年届く父宛での年賀状には、大きく逞しい文字で「先生のお陰です」の添え書きが必ずありました。その父の訃報に、電話口で「大きな花輪を。肩書はいらない。『教え子鶴橋康夫』と書いてくれ」と短い一言。



鶴橋康夫監督の遺影を中心に右側が筆者、左側は本間勝治元村高同窓会関東支部会長

「鶴橋組の現場はいつも明るく活気が漲っていた。」「監督は『OK! OK!』を大声で連発しても、叱ったり怒鳴ったりする声は聞いたことがなかった。」「新人を大事にしていた。」とは、どなたの口からも語られるフレーズです。鶴橋さんは、あと6本作品をつくらと言っていたそうです。その中には、ふるさと村上に関わる作品の構想があったかも知れません。「あと6本」の1本目の口々に前日に倒られたという鶴橋監督。監督の無念を思わずにはられません。【鶴橋康夫さんは永遠です】合掌

それから数年後の村高同窓会関東支部でお目にかかった日に、私に掛けてくださった言葉は「おー、先生の娘さん。頑張ってるのー」でした。昨年まで私が戴いた年賀状には、決まって「お父さんのお陰です」の添え書きがありました。あの野太い声、力強い手書き文字にはもう触れることはできないのです。

歴史散策の会 目黒界隈で自然、古刹めぐり

河内栄一(29回)

2023年11月23日、快晴。JR目黒駅9時45分集合、7名で散策の会はスタートした。白金五方面に歩き出す。10分ほどで国立自然教育園に到着した。65歳以上は入園料無料。東京ドーム4・2個分の広さを誇る森林緑地。室町時代には豪族が館を構えたとき、江戸時代には讃岐高松十二万石の城主松平讃岐守の下屋敷があった。明治時代には陸軍軍火庫、大正時代には白金御料地となったのち、1949年に天然記念物に指定されたことで、一般公開された。それまでは一般の人々が足を踏み入れられなかった場所だったため、豊かな自然が残された。

路傍植物園を右手に見ながら道を進んで行く。館跡を通り、しばらく歩くと坂道になっていて、すり鉢の底に向かっていくような感覚を覚える。道が平坦になり、左手に水鳥の沼が見えてくる。沼には鴨が何羽も泳いでいる。右に曲がり、右手に湿地を見ながら緩い坂を登って行く。

林が開けて、明るいところに出る。武蔵野の草原や雑木林が残る、武蔵野植物園だ。進んで行くと林になっている。右に大きく曲がり左手にかやが茂る湿地を見ながら森の小道を進んで行く。子供の頃、10月の下旬ごろ、祖父と行った、かや刈りを思い出した。かやは冬囲いのすを編んだり、春の屋根の葺き替えに使われた。広々とした湿地や池が見えてきた、水生植物園だ。左に曲がり、右手に池を見ながら進んで行くとひよつたん池が現れる。池の端まで行くと道が少しずつ登りになってきた。すり鉢の底から出口まで登って行く。

目黒通りを引き返して、JR目黒駅を右に見て進むと、道はすぐに権之助坂と行人坂に別れる。行人坂は道幅も狭く下って中ほどまで来ると、左手に大円寺がある。

明和9年(1772年)の行人坂火事の後、大円

寺は再建もされず、誰も知れず、石像の釈迦仏を置いて、大火の犠牲者を供養したのがきっかけとなり、七、八寸の五右衛門が釈迦仏のまわりを囲むように据えられた(再建は幕末)。坂を下り切るとホテル雅叙園東京がある。

百段階段とは旧目黒雅叙園三号館に当たる建物で、斜面に造られた階段廊下で階段に沿って四棟の和風建築が建てられ、七つの部屋にはそこに因んだ画家物語から名前が付けられている。『十畝の間』『漁樵の間』『草丘の間』『静水の間』『星光の間』『清方の間』『頂上の間』。各部屋には名だたる芸術家や職人たちが手掛けた壮麗な装飾が施されていた。ホテル雅叙園東京を出ると前には目黒川が流れ、橋が架かっている。この橋を太鼓橋と呼ぶのはアーチ形の石橋だったからで、広重の江戸百景にも描かれている。現在の太鼓橋は普通の橋で、権之助坂に架かっている目黒新橋がアーチ形である。太鼓橋を渡って、しばらく西に進むと目黒不動尊(泰叡山護国院 瀧泉寺)に到着。

裏口から入ると本堂裏に大日如来像が鎮座している。本堂に廻りお参りする。脇の看板にうしとら、うさぎ、たつ、へび、とりの守護本尊が本堂に祀られているとあった。自分の干支、いぬはない。後で調べてみると本堂裏の大日如来がひつじ、さる、阿弥陀尊がいぬ、いのしし、観音尊がねずみ、勢至堂がうまの守護本尊が祀られていることが分かった。

本堂から男坂の階段を下ると右手に独鈷の滝に二筋の清水が滝口から注いでいる。滝の前には水かけ不動明

寺は再建もされず、誰も知れず、石像の釈迦仏を置いて、大火の犠牲者を供養したのがきっかけとなり、七、八寸の五右衛門が釈迦仏のまわりを囲むように据えられた(再建は幕末)。坂を下り切るとホテル雅叙園東京がある。



旧目黒雅叙園三号館にあたる百段階段にて記念撮影。後列の中央が筆者

王があり、参拝者の身代りになって水を浴び願いを叶えてくれると言われている。

目黒不動を出てしばらく歩くと赤坂に突き当たり、坂を下るとオリエンタルカレールの懐かしい看板、脇には黄色く塗られた富業車が停まっていた(名屋にあるオリエンタルカレールの東京支社の事務所だった)。

蕎麦屋さん、丸福で昼食。生ビールで乾杯してから注文したカツ丼セットや天丼セットをいただいた。東急線不動駅から電車で目黒駅に戻り解散した。

臥牛会
27回生3名が初参加!

村高同窓会関東支部のゴルフ同好会「臥牛会」は小田洋雄会長(15回生)のもと現在、会員数男女46名(毎年、春(4月)と秋(10月)の年一回ゴルフコンペを開催し、親睦を深めています。

令和5年は春秋ともに紫カントリークラブあやめコース(千葉県野田市)で開催し、本年4月にはおむらさきゴルフ倶楽部(埼玉県比企郡)にて開催予定です。コロナ禍で開催中止になった年もありますが「臥牛会」は発足から37年の歴史があります。昨年の第72回ゴルフコンペには27回生、3名の初参加者もありました。ご興味ある方には是非、参加をお願いします。

また、毎年12月には新宿で交流を図る忘年会を行います。母校・郷里、ゴルフ談議等大いに盛り上がり有意義な宴会となっております。

【第72回ゴルフコンペ結果】
令和5年10月12日 於：紫カントリーあやめ東参加者：20名
優勝：松本春一(27回生)
準優勝：小嶋雄二(27回生)
3位：宮尾淳造(27回生)

【第71回ゴルフコンペ結果】
令和5年4月20日 於：紫カントリーあやめ西

参加者：21名
優勝：稲葉潔(27回生)
準優勝：鈴木陽二(20回生)
3位：本間保(17回生)



第72回ゴルフコンペ。前列右端が筆者
★臥牛会参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。
事務局 稲葉潔(27回生)
kiyoshi.inaba@outlook.jp

東京村上市郷友会 明治12年創立の親睦団体

佐藤勝(14回)

村上高専学校の創立は西暦1900年(明治33年)と非常に分かりやすく、県内でも古い伝統を誇っています。そしてこれより20年以上も前に創立されたのが「東京村上市郷友会」です。

「明治12年某月、村上人士の東都に在る者十数名、九段坂上車庫に会し親睦を厚くし、郷里の智を開発し、勉学を奨励せんがため、同郷人の会を創立する」との記録が残っています。この時を原点として「東京村上市郷友会」の活動は、145年の長きに渡り、綿々と引き継がれてきています。

現在の登録会員数は約1000名です。9月に総会を兼ねた「三田川の鮎を食べる会」、12月に「三田川の鮎を食べる会」を開催して、会員の親睦・懇親

令和5年度総会報告

2023年6月18日、新潟県人会館ホール（台東区上野）にて4年ぶりに同窓会関東支部総会が開催されました。会計・監査報告、活動報告、役員改選が行われました。

顧問	山本宏平 (17回)	新任
顧問	安富成良 (19回)	新任
会長	高橋初雄 (24回)	新任
副会長兼 事務局長	木村春夫 (23回)	新任
副会長	佐藤隆 (26回)	留任
副会長	大塚寿子 (29回)	留任
事務局員	高橋光頭 (23回)	留任
事務局員	臼井潔人 (27回)	新任
事務局員	丹田安夫 (30回)	留任
事務局員	小林敦子 (30回)	新任
事務局員	佐藤達生 (30回)	新任
事務局員	大滝秀則 (32回)	新任
会計監事	南恵美子 (31回)	新任
会計監事	工藤尚廣 (31回)	新任

【令和4年度収入の部】

総会会員参加費	0円
来賓御祝金	0円
特別参加費	0円
本部助成金	0円
維持会費	0円
寄付金	3,000円
広告代	30,000円
雑収入（利息）	10円
前年度繰越金	1,161,135円
合計	1,194,145円

【令和4年度支出の部】

総会費	0円
印刷費	135,434円
通信費	177,380円
維持会費振込手数料	0円
会議費	120,139円
運営費	34,738円
旅費慶弔費	0円
災害義援金	100,000円
次年度繰越金	626,454円
合計	1,194,145円

を図っています。「鮎を食べる会」の生みの親は市岡貞夫さん（8回生で故人）です。市岡さんは稲葉修代議士に鮎釣りを指導した釣り名人で、8月には何度か村上に帰り三面川の鮎を会員皆に食べて貰いたいと調達してくれました。また会員の多くは同窓生ですが、「鮎を食べる会」には会員以外の方々も多く参加するなど、今や全国ブランドとなった三面川の鮎の料理は人気があります。

▼事務局：佐藤方直（20回生）
TEL 090・5797・2973



昨年12月17日、コロナ禍のため4年ぶりに開催された「三面川の鮎を食べる会」。64名が参加。村上市からは忠聡副市長が駆けつけた。開会の挨拶で登壇した筆者

盛り上げ！同窓生

広告



鮭の生八ム

鮭の昆布巻



又上ホームページ



写真はイメージです

■又上の商品は都内でも扱っています

- ・吉池 東京都台東区上野3-27-12
- ・吉池赤坂店 東京都港区赤坂2-15-18
- ・ブリッジにいがた 東京都中央区日本橋室町1-6-5 だいし東京ビル1階

村上高校同窓会関東支部の皆様、こんにちは。当店はおかげさまで昨年創業180年を迎えることができました。記録によれば、天保13年（1842年）には四十物（あいのもの）や乾物などの商いをしており、販売先は山形県米沢方面を主として、福島方面へも行商卸しをしてきたようです。現在は鮎や海産物の専門店として、全国に商品をお届けしております。

近年、鮎の漁獲量は全国的にも減少し、価格も上がってきました。しかし、美味しい商品を提供するために、原料を妥協することはありません。そしてスタッフ一同、清潔で丁寧な仕事を心がけております。ぜひ一度当店の鮎製品を「賞味いただければ幸いです」。

**創業180年！
海産物の専門店**

村上市岩船上町
株式会社又上 代表取締役
伴田宏（30回）

味噌漬、酒ひたしなどですが、それ以外にもお勧めの商品があります。一つ目は「鮎の生八ム」です。熟成された鮎の旨味をしっかりととした食感でお楽しみいただけます。二つ目は「鮎の昆布巻」です。鮎の身と骨をたつぷり使い、柔らかい歯舞産昆布で優しい甘さに仕上げました。どちらも口コシでじわりじわりと人気が出てきた商品です。



母校だより

令和の時代を 生きる生徒たち



村上高等学校校長 平山剛 (36回)

村上高等学校同窓会関東支部の皆様には、日頃より、本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

令和5年度も、様々な教育活動を行い、本校の生徒たちが大いに活躍しました。部活動においては、ソフトテニス部の1年生が活躍し、女子のペアが北信越大会やインターハイに出場しました。また、昨年度に引き続き、スキーでインターハイに出場した生徒もおりました。

令和5年度の卒業生は125名で、そのうち大学等への進学者は、3月15日現在で、国立大19名、私立大73名となっております。また、専門学校等が23名、就職が3名、未定が7名という状況です。近年は、多様な生徒が入学するようになっており、一人ひとりに応じた学習計画を立て、特別な支援を行ったり、悩みを抱える生徒に対しては、寄り添った指導をしたりすることが求められております。

令和5年度の本校は、1年生4学級、2年生3学級、3年生4学級体制で、約360人の在籍でした。全国的な少子化の影響や、この地域における急激な生徒数の減少により、学級数が減る状況が続いております。実際、令和5年度は、4学級募集でしたが、定員160名のところ、122名の入学となりました。また、令和6年度と7年度の募集学級は3学級となり、令和8年度には、一旦4学級募集に戻るもの、その後3学級募集が維持されることになっております。

今から40年ほど前、私が、村上高校に在籍していた昭和58年頃は、全校生徒は880人ほどで、1学年8クラス、2学年6クラス、3学年6クラ

スという編成でした。当時の生徒数と現在の生徒数を比べれば、隔世の感があります。

ここからは、その当時在籍していた生徒の一人として、私の高校時代を回想してみたいと思います。

私は中学時代にバレーボールに関心があり、高校では男子バレーボール部に入部しました。ボールを手のひらで、しなやかに受け取り、相手に柔らかなく返す先輩たちのパスを見て、早く、自分もそれができるようになりたいと思っていました。

バレーボールは、とにかくボールをコートに落とさないことが大切だと思い、できるだけ長い時間、ボールを自分の手元に置くことを心がけて練習したものです。しかし、自分の思うようにボールを扱うまでには多くの時間を要しました。また、私は身長が低く、ジャンプ力があつたわけでもなかったため、ネットから首がでるほどジャンプして、鋭角的なスパイクを打ち込むことは出来ないままでした。また、アタッカーに合せてジャンプし、スパイクをききよくブロックしたこともありません。

地味な選手でしたが、けがもせず、休まずに練習をしていたせいか、3年次にはキャプテンを任せられました。当時の顧問は、豊田興次先生で、威厳がおありでした。私たちの学年の部長は自分を含め、さほど高くない、技術的にも他を凌ぐものが無かったため、目立った戦績を残すことはできませんでしたが、一つ上と、一つ下のチームは、運動能力の高い選手が揃っていましたので、大会で上位に進出しました。

村上高校では、部活動で、バレーボールに打ち込んだことが強く思い出として残っていますが、今思えば、同じような情熱を持って勉学に取り組んでいれば、違った人生があったのではと思うこともあります。

高校では、授業を通して多くの先生方から、知に向き合う姿勢を教わったように思います。特に本間桂先生からは、自分のその後の人生に影響を与えるほどの教示を受けました。先生の授業の冒頭では、必ず、聖書を始めるの英米文学などから引用された文章が紹介されました。その内容を理解したかどうかは定かではありませんが、その都

度、意味が分からなくとも、学ぶことの奥深さを感じることができました。先生の授業を通じて、学問をする意義を認識し、理想の生き方を模索していくことが人生において大切であることを学んだと思います。

先生が当時引用された新約聖書マタイ伝の7章7節と13節は、40年が過ぎた今でもはつきりと覚えていて、英語で語ることが出来ます。

“Ask, and it will be given to you; seek, and you will find; knock, and it will be opened to you.”

「求めよ、さらば、与えられん。捜せよ、さらば、見いださん。叩けよ、さらば、開かれん。」

“Enter by the narrow gate. For the gate is wide and the way is easy that leads to destruction, and those who enter by it are many. For the gate is narrow and the way is hard that leads to life, and those who find it are few.”

「狭き門より入れ。滅びに至る門は大きく、その道は広い。そして、そこから入る者多し。命に至る門は小さく、その道は狭い。そしてこれを見いだす者少し。」

この英語の明快さと日本語訳の妙に感動したことを覚えております。当時、少し背伸びをして、Cambridge 大学出版の The New English Bible を新潟市にある紀伊國屋書店で買い求め、英語を自分のものにしようという野心に燃えていたことを思い出します。

今の高校生にも、私が経験したように、学問に打ち込むことで得られる真の喜びを味わってもらいたいと思っております。また、そこに導く役割を本校職員に担ってもらいたいとも考えています。

これからの高校生は、私たちが高校生であった時代よりも、はるかに複雑で不透明な時代を生きて行くこととなります。新しい技術とあふれる情報に向き合いながら、自分の意思を形作り、他者と協働して進んで行かなければなりません。

私たち公教育に従事する者の役割は、知識と経験を備えた上で、社会に貢献しようとする人材を育成

していくことであり、そのためには、生徒たちに人生を肯定的に捉えさせ、日々の生活を充実させることが大切であることを伝えていく必要があると思います。村高生が自分の可能性を信じて努力する中で、生きる喜びを見だし、その結果、周囲を幸せにする存在となることを切に願います。

令和の時代にも、地域から信頼され、誇りとされる高校であり続けるために、同窓会の皆様方からの、本校に対する温かい激励と引き続きの御支援をお願いいたします。

2024年4月(令和6年度)より萱森茂樹氏
が新校長に就任しました。

村上に帰省の際は是非お立ち寄りください
ご来館を心よりお待ちしております



新潟県 瀬波温泉 海の彩り 夕陽の季節

露天風呂 大観荘 七なみの湯

〒958-0037 新潟県村上市瀬波温泉2-10-24
TEL.0254-53-2131(代) FAX.0254-53-2768
http://www.taikanso.senaminoyu.co.jp
e-mail taikanso@senaminoyu.co.jp



創業 文政2年(1819年)

宮尾酒造株式会社

ふるさとだより 災害に強い まちづくりを!



村上市長 高橋邦芳 (30回)

お城山の木々が青々とし、若葉が美しい季節となりました。会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。今年、年明けは、コロナが5類に移行してから初めてとなるお正月でしたので、久方振りに故郷村上で過ごされた方々もおられたことと思います。元旦であつても自然災害は容赦なし、まさにそのことを実感しました。1月1日は、恒例の「村上元旦マラソン大会」が開催され、私もスターターとして参加された皆様とともに清々しい気持ちで新年を迎えていました。

穏やかな令和6年の幕開けが一転したのは午後4時10分、能登半島を震源とする地震が発生し市内も大きな揺れに見舞われ、津波警報が発報されたことからさすま避難を呼びかけました。本市では津波の被害はありませんでしたが、住家において地震による一部破損がありました。

本市と漆産業を通して交流がある輪島市、全国山・鉾・屋台保存連合会の会員として交流のある七尾市に対し災害支援寄付の代理受付を実施し、全国の皆様から多くの寄付が集まりました。本市からは、地震直後から緊急消防援助隊を金沢市に派遣したほか、被害が大きかった新潟市に対し給水車の派遣、建築物応急危険度判定、住家被害認定調査として職員を派遣しました。

被災した地域を継続的に支援していかねばならないという思いは、この5年間に多くの災害

に見舞われた本市だからこそ強く感じているところであります。来月には令和元年に発生した山形県沖を震源とする地震から5年が経ちます。また令和4年8月3日の大雨災害から1年9か月が過ぎました。災害からの復旧が進む中、昨年10月1日をもち避難指示を全て解除し、復旧作業も概ね80%が完了しましたが、一日も早い復旧復興に向け事業を加速させるとともに被災された方への支援を継続し災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

さて、脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、今年3月より村上駅と瀬波エリアを結ぶ循環バスにEVバスを導入し運行を開始いたしました。堆朱をイメージした深紅の車体のEVバスは、持続可能で誰もが利用しやすい公共交通であるとともに二酸化炭素削減を考え導入したものであり、多くの皆様に「ご利用ください」とお呼びかけしております。皆様も村上へお越しの際にはぜひご乗車ください。

また、令和9年の完成を目指しリニューアルする道の駅「朝日」ではゼロカーボンシティを目指す本市の取り組みの一環として、自然環境、光風、土を最大限に生かした環境配慮型の道の駅を目指します。この道の駅「朝日」が東北から関東や北陸へのプラットフォームとなるよう機能を提供していきたいと考えています。

そんな中、世界に目を向ければ7月に2024パリオリンピックが開催されます。本市スケートパークではこれまで国内の強化選手が全国から訪れ技術を磨いておりましたが、昨年は海外チー

ムも多数ご利用いただきました。「スケートボードの聖地」を目指す村上の地で技を磨いた世界のトップ選手たちの活躍を大いに期待しています。また、昨年12月にはユネスコ無形文化遺産の拡張提案候補として国指定重要無形民俗文化財「村上祭の屋台行事」が選定され、提案書が提出されました。そして来年はいよいよ大阪・関西万博の開催が予定されており機運が高まっています。本市は万博首長連合役員市であり積極的に取り組みを進めておりますが、本市の魅力を世界中の方に知っていただく絶好の機会と捉え様々な企画を考えているところであります。

さて、毎年多くの方から大変好評を頂いておりますふるさと納税の返礼品ですが、本市の魅力が詰まった逸品をご用意しております。岩船産コシヒカリ、村上牛をはじめ、塩引鮭、酒、村上茶、越後本ズワイ、堆朱しな布等ぜひ、皆様の故郷・村上の魅力を感じて頂くとともに、大切な方への贈り物としてもご利用いただけます。

会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げますとともに村上へのお越しを心からお待ちいたしております。



2024年3月3日に行われたEVバスの出発式。左が高橋市長

ムも多数ご利用いただきました。「スケートボードの聖地」を目指す村上の地で技を磨いた世界のトップ選手たちの活躍を大いに期待しています。また、昨年12月にはユネスコ無形文化遺産の拡張提案候補として国指定重要無形民俗文化財「村上祭の屋台行事」が選定され、提案書が提出されました。そして来年はいよいよ大阪・関西万博の開催が予定されており機運が高まっています。本市は万博首長連合役員市であり積極的に取り組みを進めておりますが、本市の魅力を世界中の方に知っていただく絶好の機会と捉え様々な企画を考えているところであります。

さて、毎年多くの方から大変好評を頂いておりますふるさと納税の返礼品ですが、本市の魅力が詰まった逸品をご用意しております。岩船産コシヒカリ、村上牛をはじめ、塩引鮭、酒、村上茶、越後本ズワイ、堆朱しな布等ぜひ、皆様の故郷・村上の魅力を感じて頂くとともに、大切な方への贈り物としてもご利用いただけます。

会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げますとともに村上へのお越しを心からお待ちいたしております。



昨年10月に村上市スケートパークで開催された「AJSA全日本アマチュア選手権大会」

ふるさと納税はこちらから



村上の米をつくり、酒をつくり、人をつくる



郷里の地酒
清酒 **大洋盛**

〒958-0857 村上市飯野1丁目4-31
TEL 0254-53-3145 <https://www.taiyo-sake.co.jp/>



SINCE1777年 安永6年創業
料亭 能登新 0254-52-6166

超人気!! 村上限定販売酒

紫雲 大洋盛 をどうぞ!!!!

普通酒 720ml 924円 1.8l 2,035円
純米吟醸酒 720ml 1,452円
本生酒 720ml 1,210円

益 甚(ますじん)
お届けします。18回生 益田茂彦
村上市大町1-19
Tel0254-53-2432 Fax0254-53-2652

村高同窓会関東支部役員一覧

令和5年度年会費拠出者一覧

ご協力者 309名

2024年3月末現在

役職	氏名	卒業							
顧問	山本宏平	17回	旧46 加治利也	11回 樋口 征司	17回 宮本久美子	20回 志田裕	26回 伊藤誠二		
顧問	安富成良	19回	定6 坂井博	12回 渡邊慶子	17回 本間千代子	20回 菅原悟	26回 佐藤隆		
会長	高橋初雄	24回	定6 杉本孝一郎	12回 野口春樹	17回 小池正一郎	20回 鈴木陽二	26回 松澤豊		
副会長兼	木村春夫	23回	定11 立花俊道	12回 大島信三	17回 若穂勇男	20回 高崎慶一	27回 福本ケイ子		
事務局長	佐藤隆	26回	定11 本間健志	12回 石川時子	17回 田所和子	20回 西川正	27回 佐藤与幸		
副会長	大塚寿子	29回	定11 細井ミツ子	12回 服部智恵子	17回 佐藤笑子	20回 羽深大三	27回 高橋百合子		
副会長	高橋光夫	23回	定23 大滝和俊	13回 佐藤忠史	17回 稲垣常夫	21回 飛田芳子	27回 猪股孝子		
事務局員	高橋光顕	23回	2回 高橋光夫	13回 中束三嘉	17回 川島也子	21回 熊倉英子	27回 石栗忠彦		
事務局員	白井潔人	27回	2回 本間正英	13回 高橋翼	17回 宮絢子	21回 清水正幸	27回 柴崎俊雄		
事務局員	丹田安夫	30回	3回 斎藤悌三	13回 渡辺輝男	17回 服部芳朗	21回 鈴木正信	27回 松本春二		
事務局員	小林敦子	30回	3回 斎藤奎二	13回 松村命	17回 三科禮三	21回 瀬下江二	27回 山村重雄		
事務局員	佐藤達生	30回	3回 佐野清廣	13回 渡部和子	17回 南公隆	21回 本保悦也	27回 梅原章子		
事務局員	大滝秀則	32回	3回 田中照浩	13回 伊藤衛	17回 森屋和子	21回 難波光子	27回 宗啓子		
会計監事	南恵美子	31回	4回 永田讓輔	13回 佐藤達夫	18回 小堀紗智子	21回 萩原美津枝	27回 白井潔人		
会計監事	工藤尚廣	31回	5回 篠木幸雄	13回 菅井真人	18回 岩倉芳男	21回 山際敏和	27回 菅原好江		
幹事	木村一昭	1回	5回 宗村承子	14回 富山久	18回 福元公子	21回 山崎久男	27回 大宅実男		
幹事	川上孝	2回	5回 湯浅慶子	14回 松永純子	18回 小林栄子	21回 恩田たみ子	27回 佐藤淳		
幹事	小田正二	3回	5回 遠山雄平	14回 佐藤勝	18回 金田昭子	21回 川上幸男	27回 長谷川正晃		
幹事	齋藤實	7回	5回 渡辺晋	14回 細野勲	18回 瀬賀恵次	21回 寺井克為	27回 久保田圭子		
幹事	中野菊栄	8回	5回 佐藤祐郎	14回 丹田兵次	18回 平山謙	22回 鈴木弥生	27回 大井隆子		
幹事	小池悟朗	8回	5回 菅一郎	14回 黒岩紘子	18回 八藤後和春	22回 山崎とし子	27回 稲葉潔		
幹事	関根洋子	9回	5回 飯沼孝	14回 斎藤攻	18回 佐藤せつ	22回 美濃忠三	27回 西村恵子		
幹事	鈴木亮	9回	6回 野中千枝子	14回 村山孝夫	18回 斎藤周平	22回 団原やい子	28回 小川友子		
幹事	本間勝治	9回	6回 外門功	14回 土肥直子	18回 濱中壽子	22回 八藤後和行	28回 岡正子		
幹事	小野安雄	10回	6回 大平悦子	15回 尾崎茂	18回 高橋繁夫	22回 山内敦	28回 櫻井繁子		
幹事	長谷川康夫	10回	6回 泉原富子	15回 永井文男	19回 菅井初雄	22回 北岡亮子	28回 高橋恒雄		
幹事	本間健志	11回	6回 内山忠	15回 松澤正	19回 長坂三重子	22回 佐藤裕治	28回 山本広三		
幹事	伊藤衛	11回	6回 乾良雄	15回 山口至	19回 坂中良子	22回 村山直弘	29回 井上孝広		
幹事	小田洋雄	15回	6回 岩澤正子	15回 伊藤満紀子	19回 村山みち子	23回 鈴木和美	29回 河内栄一		
幹事	佐藤衛	16回	6回 須貝誠司	15回 大川トミ子	19回 磯部衛	23回 細谷洋子	29回 大塚寿子		
幹事	佐藤三男	16回	7回 齋藤隆夫	15回 鈴木康夫	19回 木村香	23回 平松スイ	29回 山本和代		
幹事	本間保	17回	7回 齋藤實	15回 明前壽一	19回 名取久仁子	23回 須崎ミチ子	29回 中村英之		
幹事	田所和子	17回	7回 水野貞	15回 角替キヨ	19回 安山文明	23回 木村春夫	29回 稲葉充		
幹事	宮絢子	17回	7回 笠原順子	15回 田中ヒロ	19回 平山文昭	23回 井上えみ子	29回 川崎芳邦		
幹事	緒方光彦	18回	8回 八藤後剛輔	15回 青山光夫	19回 安富成良	23回 小堀美喜子	30回 小林敦子		
幹事	山下治郎	19回	8回 佐藤タエ	15回 鈴木益良雄	19回 鈴木実	23回 富樫博志	30回 相馬章		
幹事	瀬下江二	21回	8回 木藤克子	15回 小田洋雄	19回 美濃部千恵子	23回 村田裕子	30回 廣本さとみ		
幹事	山崎久男	21回	8回 佐藤彊介	15回 田中敏博	19回 秋山芳行	23回 高橋光顕	30回 小太刀恵		
幹事	中村修平	21回	9回 上山采子	15回 宮野美保子	19回 中村富美子	23回 永沼真枝美	30回 佐藤達生		
幹事	山本利春	24回	9回 佐藤雪子	15回 小田毘古	19回 菅井小夜子	23回 萩原澄子	30回 清野篤		
幹事	永井賢吉	26回	9回 稲垣伸夫	16回 富樫春夫	19回 大貫サキ子	23回 加藤明	30回 丹田安夫		
幹事	相馬章	30回	9回 八藤後栄祐	16回 鈴木愈	19回 佐貫秀子	23回 須貝研司	30回 中村好		
幹事	伊藤ヨシ	30回	9回 齋藤吾郎	16回 二宮照子	19回 野尻昭二	23回 鳥屋栄二	30回 斎藤司		
幹事	坂井昌夫	31回	9回 五十嵐孝治	16回 川村稔	19回 茂原孝太郎	23回 山下治郎	30回 佐藤博之		
幹事	近亮	31回	9回 鈴木亮	16回 佐藤衛	19回 山下治郎	23回 吉川礼次	30回 南恵美子		
幹事	山本大輔	33回	9回 平井俊雄	16回 大坪信武	19回 若林さと	24回 広沢なお子	31回 横山素子		
幹事	前田格	36回	9回 本間勝治	16回 佐藤三男	19回 奥村良作	24回 入江敏子	31回 鈴木修		
			10回 岸野洋	17回 山本宏平	19回 鳥屋実	24回 七海陽子	31回 坂井昌夫		
			10回 鈴木富夫	17回 森田千代子	19回 成岡茂	24回 伊藤千枝	31回 工藤尚廣		
			10回 長谷川康夫	17回 金谷法子	20回 菅原孝	24回 高橋重実	31回 高橋初雄		
			10回 亀井興	17回 本間保	20回 大沼晶	24回 高橋初雄	31回 高橋寛子		
			10回 長島昭	17回 矢野喜美子	20回 加藤正己	24回 松島裕子	31回 近亮		
			11回 小栗晃	17回 鈴木沙代	20回 木村幸夫	24回 吉澤まり子	32回 大滝秀則		
			11回 町田信	17回 当摩建	20回 平山恵美	24回 田沼宗子	33回 廣田昭美		
			11回 土屋久子	17回 石川睦	20回 佐藤陽三	24回 仙むつみ	33回 金澤清美		
			11回 片野晴彦	17回 富樫芳次	20回 高橋国栄	24回 山本青子	33回 鈴木健一		
					20回 渡辺泰次	24回 阿部正人	35回 前川則子		
					20回 菅原ヒロ子	24回 山本千代子	36回 福永利枝子		
					20回 富野竹子	24回 渡邊聡	38回 加藤博徳		
					20回 肥本久子	24回 板垣保明	38回 小山由紀子		
					20回 中村加和子	24回 遠山満	39回 山本一郎		
					20回 尾上啓子	24回 野沢清人	40回 和泉聡子		
					20回 齋藤満男	24回 山本利春	41回 黄地貴子		
					20回 新沼たず子	25回 富樫三子夫	41回 茅野民夫		
					20回 本間廣	25回 中田勢津子	43回 榎田睦子		
					20回 村田正伸	25回 須貝与志明	46回 鈴木忠義		
					20回 佐藤方直	26回 北村紀良			

編集後記

同窓生の話聞いて構成した「訪朋記」の1回目は二人の音楽家です。取材では初めて聞くことに驚くばかりでした。大きな広告を出してくれたお店は天保年間の創業。伝統に裏打ちされた郷土の美味をぜひご賞味ください。

平山校長先生のご報告から卒業生の漸減が予測されます。そのとき関

東支部はどうなるのか？という不安はありますが、2,000人以上の会員をつなぐこの広報紙にはまだできることがあるはず。そんな思いから少しだけ紙面構成を変えてみました。新編集担当は佐藤達生(30回)と工藤尚廣(31回)。還暦過ぎの新人ですが、どうぞよろしくお願ひします。